

項目	内容
名称	ローズゼラニウム油、ニオイテンジクアオイ、コウヨウ [英]Rose Geranium Oil [学名]Pelargonium graveolens L'Herit
概要	<p>ローズゼラニウムは、南アフリカ原産で、現在は各地で栽培される多年草であり、高さ60～90 cm程度に生長する。葉や茎から抽出されるローズゼラニウム油は、化粧品や加工食品に香料として、また防虫剤などに利用されている。産地によってタイプが分けられ、アルジェリア、ブルボン（レユニオン）、モロッコが代表的な品種である。</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」にも該当しない。</p> <p>■ 海外情報 ・米国では、GRASに該当する。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・L-シトロネロール、ゲラニオール、リナロール、フェネチルアルコール、チグリン酸ゲラニル、酢酸ゲラニル、ギ酸シトロネリル、酢酸シトロネリル、シトロネロール、シトラール、デシルアルデヒド、ケトン、セスキテルペン炭化水素、セスキテルペンアルコール、ギ酸、酢酸、プロピオン酸、オクタン酸、チグリン酸、ジメ</p>

チルスルフィド、デヒドロシトロネロール、メントール、シトロネリルジエチルアミンなどを含む (23)。

分析法

・葉から抽出した精油に含まれる揮発性芳香成分 (シトロネロール、ゲラニオールなど) をGC/MSで分析した報告がある ([PMID:22734822](#)) ([PMID:23216669](#))。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳

(23) 天然食品・薬品・香粧品の事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳

(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館

(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)

(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)

[\(PMID:22734822\) Lipids Health Dis. 2012 Jun 26;11:81.](#)

[\(PMID:23216669\) Lipids Health Dis. 2012 Dec 5;11:167.](#)

[\(PMID:4457412\) Food Cosmet Toxicol. 1974 Dec;12 SUPPL:suppl 12:807-101.](#)

(101) Toxicologist 2009 158